

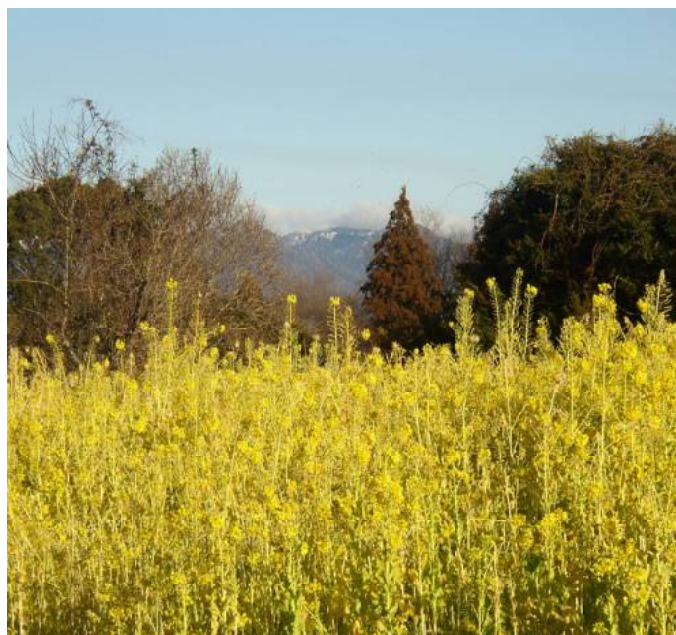
巻頭言

## 定数4議席減の中 宝の2議席守り抜こう

鈴鹿市日本共産党後援会会長 吉田一男

石田秀三さんと高橋さつきさんは、鈴鹿市議会になく  
てはならない議員です。しかし共産党はここ10年、各種  
選挙で得票を減らし続けています。若い人の参加を得て  
活力ある共産党を作ることが焦眉の課題となっており、  
そのための取り組みが強められています。今度の選挙は  
岸田大軍拡の暴走にストップをかけ、国民に寄り添った  
政治に切り替える第一歩にする選挙でもあります。その  
ために日本共産党を大きく躍進させてください。

共産党は2人にしぼったから大丈夫」とい  
う楽観論が広がっていますが、現状は2議  
席確保は容易なことではありません。みな  
さんの力を貸してください！



### 鈴鹿市国府町の菜の花畑

「♪春は名のみ～」そして、「♪菜の花畑に入日うすれ～」  
と季節の移り変わりの狭間で。薄っすらと雪をかぶった  
鈴鹿山脈と菜の花のコラボ。 住吉 菅谷芳則

### 「住民こそ主人公」の鈴鹿市に

鈴鹿市議会議員 石田秀三



私は最初の市議選で、「中学校給  
食の実現」を政策としてかけまし  
た。これが実現するには20年以上も  
かかりましたが、今では「あって当  
たり前」になっています。同じように学童保育やコミュ  
ニティバスなど、以前はなかった施策の多くが今  
では「あって当たり前」になっています。市民の皆さ  
んの声を取り上げ、いっしょに運動してきたことが、  
やがて実を結ぶという経験をしながら、議員活動  
を進めてきました。

「住民こそ主人公」が私たちのスローガンです。一  
人一人の市民が大切にされる行政、いのちと暮ら  
しを守る自治体をつくるために、これからも皆さ  
んの声聞きながら努力していきたいと思ひます。ご  
いっしょに進んでいきましょう。

### 戦争反対、大軍拡&大增税STOP!

鈴鹿市議会議員 高橋さつき



この4年間、私は少なくない方が、鈴鹿  
市から生活相談などで人権侵害の対応  
を受けていることを知って、悲しくなりま  
した。人としての尊厳や命、くらしを大切  
にする鈴鹿市、さすが鈴鹿市あったかい！となるよう  
今後も訴えていきたいです。

そして、最大の人権侵害、環境破壊は戦争です。ぜ  
ったいに戦争しないと決めたのに軍備を増強したら戦争  
への近道となってしまいます。私たちが一生懸命納め  
た税金は、私たちの生活をよくすることに使わせましょ  
う！戦争の準備ではなく、平和の準備！給食費ゼロも  
学費ゼロなど、豊かな暮らしの準備に使いましょう！  
平和を愛する皆さんと手をつなぎ、戦争反対、大軍拡  
& 増税STOP！と鈴鹿市からも声を大きくしてい  
きましょう！どうぞよろしくお願ひいたします。

### 小さき声へ

仏教は慈悲と智慧の教えである、と云われている。慈悲は小さき声、声なき声に耳を傾けその声に手をさしのべることを云う。そして、それが本当に正しいかどうか見極める心を智慧という。

丁度、一年前(鈴鹿青少年の森)の一角に計画していたサッカースタジアム建設工事に入る新聞記事が出た。この計画に対して運営会社も県も地元の鈴鹿市も(小さき声)に耳を傾け理解しようとしなかった。

一滴の水はやがて岩をも砕く、と云うたとえがある。私は市民としてその行政姿勢に何もかも反対の声をあげるというものではないが、この件には断固反対であった。その(小さき声)を市議会で代弁してくれたのが、石田秀三さんと永戸たかゆきさんであった。お二人に大きな拍手と声援を送りたい。

(神戸 衣斐弘行)

### 人権侵害都市鈴鹿

現在2名の鈴鹿市民は、鈴鹿市長を相手に「鈴鹿市障害者自動車保有・利用禁止事件」裁判を闘っています。生活保護法では、基本的には自動車の保有は認められていませんが、障がい者が通院のために保有する条件に合えば認められます。他市では生活保護法通りに自動車の保有を認めています。鈴鹿市は生活保護法の運用にあたっては認めないことを前提にしています。

これは市の裁量権を逸脱乱用した運用であり、許すことのできない人権侵害であります。このような現状に対して、人権感覚の鋭い日本共産党高橋さつき議員と共に闘っていきたいと思っております。

鈴鹿生活と健康を守る会  
会長 下井信夫

### 石田秀三さん 高橋さつきさんを 議会へ必ず!

日本共産党の党員は、どうしたら市民の暮らしが良くなるかな、といつも考えています。チラシを作ったり配ったり、また街をチェックしたり運動を起こしたり、それぞれができることをやってる鈴鹿の『チーム感』がすごいなといつも思っています。

そこに欠かせないのが個性輝くお二人の議員『石田秀三さん』と『高橋さつきさん』です。間違いなく『良い人』

## 共産党に期待する ～私の願い～

### 神戸の生え抜き 高橋さつきさんに期待する

私が長太小学校に赴任した時、職員トイレが男女一緒だったので驚いた。トイレ改修が校長としての初仕事だった。他の議員はいい格好をするが、生徒が使うトイレに着目して改修に努力したのはさすがだ。神戸高校の後輩でもある高橋さつき議員にエールを送りたい。(寺家 長谷川八壽雄)



寺家3丁目のアトリエにて  
彫刻作品制作中の長谷川さん  
(2023年1月28日撮影)

### 私を変えた「赤旗」

例えば真実は、しんぶん「赤旗」が教えてくれます。やさしい敬体文で、鋭い内容を知らせてくれるのです。ですから、いま考えるべき問題や知識はそこから得られます。20代の終わりから共産党を支持するようになりました。それまでは、選挙となれば所属する組合が推す候補に投票していました。何にも考えていなかったのです。当然、世の中の問題に対するとらえ方も大雑把でした。そんな私を変えたのが「赤旗」だったのです。真の平和と全ての人の人権を願い、真理を貫く共産党。議員さんは常に真摯で、庶民の味方。だから、私は共産党を支持します。

(岸岡町 小川はつこ)

ですが、それだけではありません。みなさんの声を行政に繋いだり議会に取り上げたりして、平和を守り暮らしを守るため働きます。

私たち亀山市議団も共にながります。どうぞお二人をみなさんのお力で議会に送ってください。

(亀山市議 福沢みゆき

ミルフィーユのメンバー)



## 共産党に期待する～私の願い～

### 署名やめよと鈴鹿市が圧力

昨年12月、岸田自公政権は国会にもかけず「安保3文書」を閣議決定しています。専守防衛から敵基地攻撃への大転換です。

鈴鹿市は約40年前、「非核平和都市宣言」をしています。市は毎年夏に「平和への祈り展」を開催し、市民へ非核平和を呼びかけているのは素晴らしいことです。しかし、一昨年鈴鹿市原水協が主催する「原爆と人間展」の会場（市役所1階市民ギャラリー）で行っていた、日本政府に「核兵器禁止条約に参加を求める」署名をやめるようにと行ってきました。政府の方針に反するようなことはしてはくれるな、ということです。市長・議長・ほとんどの議員が国の方針に従順に従う中、日本共産党の議員は市民の立場から議会で発言しています。選挙に勝利して、引き続きご活躍くださいますように。

(徳田町 川北秀洋)

### 誰もが「生きてて良かった」と思える社会に

圧迫骨折から車イス生活になった母を自宅で介護して2年になります。70代の娘夫婦が91歳の母親の世話をする老々介護の日々です。家族の負担を軽くするため使える限りのサービスを利用していますが、デイサービス、ヘルパー、ベッドなどのレンタルで、月5万円あまりかかります。さらにショートステイを利用すると1泊5000円。1割負担でも大変なのに、政府が検討している2割負担になったらと考えただけでも恐ろしいです。

介護現場で働く人たちの賃金引上げ、人員配置の改善もするべきです。社会保障を削減する中で軍事費を2倍に増やすなんて本末転倒です。

母の口ぐせは「もう長生きはええわ！」ですが、誰もが「生きてて良かった」と思える社会にしていきたいです。

(自由ヶ丘 桑原千香子)

### この森は鈴鹿市の宝

ようやく鈴鹿青少年の森のサッカースタジアム予定地を囲んでいた工事用フェンスが、2月末に外される！私は日本野鳥の会・三重会員として、森を長く見守ってきました。51種の野鳥と会える森は、鈴鹿市の「宝」です。生物多様性がバランス良く、50年保全されてきたこの森が、いつまでも市民の憩いの場でありまうように。

(上田町 市川美代子)

### 市長の決断で、オンデマンド交通の実現を！

高齢者が免許を返納することで生活が不便になり行動範囲が狭くなり、それにともない刺激も少なくなり、うつや認知症を発病するリスクも高まります。

人間は何歳になっても、人と人とのつながりが大切であり、会話をしたり笑い合ったり、社会とのつながりを維持することが必要です。高齢者の外出促進が医療費削減につながり、元気な町づくり、誰もが住みよい街へと変化します。

そのためにも、いつでも・誰でも・どこへでも、自由に行動できる足の確保は必要不可欠です。行政が責任を持って公共交通の充実をはかること、オンデマンドバスの実現を強く願います。

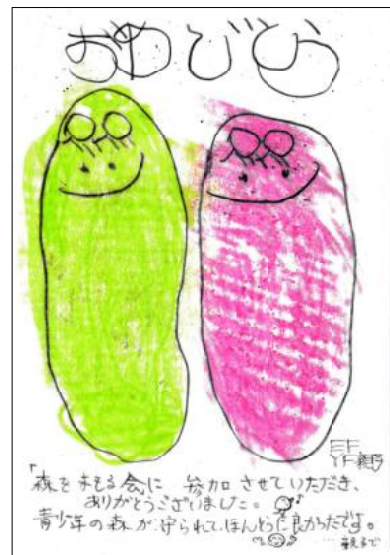
(上田町 田中美代子)

### 住んでいることを誇らしく感じられる鈴鹿市に

通帳の引き落とし金額を見てため息。小学生の息子と中学生の娘の給食費、学校への支払い。娘は受験を控えているから塾代、冬期講習にも申し込んだ。高くなった光熱費。子どもたちが将来、大学へ進学する時のために積み立てたいのに、なかなか貯金もできていない。まわりにもそんな親ばかり。

他の市町村の話題がニュースから聞こえてくる。「小中学校の給食費が無料」「18歳までの医療費が無料」「18歳までの子どもに月5000円」、住んでいるところによってこんなに違うとは…。またため息。できれば私も子どもも幸せと感じながら暮らしていきたい。みんなそうだと思う。鈴鹿市に大切にされ、住んでいることを誇らしく感じられたら幸せなのだけど。

(桜島町 中村)



森を守る会に参加させていただきありがとうございました。青少年の森が守られてほんとうに良かったです。(Fさん親子のハガキより)



**新春演説会開かれる** 1月15日(日)鈴鹿市ふれあいホールで日本共産党新春演説会が行われました。フレッシュな木村さんの司会、ミルフィーユさんの透きとおるハーモニー、石田・高橋市議の決意表明、本村伸子衆院議員の国会報告、女性後援会の出し物など盛りだくさんの内容に、参加者は「市議選勝利」への決意を固めました。石田議員、高橋議員のお話はQRコードからご覧ください。

**大軍拡は絶対に駄目**

もとむら議員のお話は、国会で起こっていることがわかりやすく伝わってよかった。いろいろとダメダメな政府だが、特に大軍拡は絶対に駄目だ。福祉を削って防衛費に回す？増税？国民は苦しんでいるのに？戦争をできる国にするなどもってのほかだ。この政府の暴走を止めるためには、政治に興味のない人も巻き込んで「大軍拡反対！」の声を届けるしかない。まずは周りの友人と「大軍拡」



について話をしてみたいと思う。初めての司会は緊張もしたが、楽しかった。もとむらさんを一番近くで見られてよかったです。

(東磯山 木村沙織)

**初お披露目は新春演説会**

「新春演説会、女性後援会として何かやりたいね」と話し合った結果、威勢のいい「白浪五人男」に。肝心のセリフは「街の脚本家」として知られる道家さんをお願いしました。年末にはリモートでセリフ合わせもしました。問題は衣装で、あちこち訪ね回り、ハッピーや傘、下駄などを調達。ご協力ありがとうございました。年明けの一回きりの稽古はみんなのやる気を感じました。あとは本番、いでたちもバッチリ！！それぞれのセリフの時の「そうだ、そうだ」に本村伸子さんも声を合わせてくださり気分も上がりました。最後に杉本さん作の巻紙スローガンを掲げてアピールできたのは良かったと思います。「よく短期間でやれたよね」「楽しかったね」「ひょっとしてオファーが来たりして」なんて。無事終わってヤレヤレ。でもこれからが本当の「本番」。

「当選勝ち取るため頑張ろうではないか、なあみんな」  
「そうだ、そうだ」 ～幕～ (真柄真知子)

● 鈴鹿高専、旭が丘幼稚園の通り、街路樹の根が太り歩道が凸凹(10~15cm)、特に早朝暗いときは転倒が発生、きわめて危険。子ども、老人、早朝のウォーキング、通行は多いが整備不足です。

亀山、四日市、員弁などに比して市の活性化運動や行政の活躍がみえません。白子駅前商店街などは市の玄関口である。もっと楽しく元気のある玄関口商店街にしたいものです。(東旭が丘 K様)

**アンケートに見る  
鈴鹿市政への声**

● 市内も端の方(石薬師・自由が丘・小谷辺り)へ行くともとても不便で17時までの2時間に1本のバスだったり、コミュニティバス(歩いて1時間ほどかかる)も遠く、高齢の両親にはとても無理です。市内隅々まで生活しやすい鈴鹿市にしていきたいです。このような状況で、ご近所でも80代を超えても免許返納できない人が多数いるようです。(50代 女性)

● 年金だけでは生活できず77歳になってもアルバイトをかけもちして働かなくてはならない。旅行に行くひまもない。そろそろ体力が限界、この先、生活が立ちゆかなくなる。年金が減っていくにもかかわらず、介護保険料や健康保険料が上がり、だんだん生活が苦しくなっている。今のままでは死ぬまで働かなければならない。そのようなことは体力的に無理。(岸岡町 M様)